

### 《研究課題名》

胸部動的撮影による肺血流、心機能、肺機能評価について

### 《研究対象者》

2024 年 5 月から 2025 年 10 月末日までに、滋賀医科大学において循環・呼吸不全が疑われ、診療として胸部動的撮影（Dynamic Chest Radiography：DCR）が実施された方

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を実施します。本研究は、診療で既に取得された胸部動的撮影（DCR）などの診療情報を用いる後ろ向き観察研究です。研究目的や研究方法は以下のとおりです。情報の使用について、直接ご説明のうえ同意を頂く手続き（インフォームド・コンセント）は行わず、\*\*本お知らせの掲示により情報の利用を周知し、研究対象者等が内容を確認でき、かつ拒否できる機会を保障します。\*\*研究の主旨・方法をご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、本研究への情報の利用を希望されない場合、あるいは本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2029 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 救急集中治療部 助教 宮武 秀光

### （２）研究の意義、目的について

#### 《意義》

胸部動的撮影（DCR）により、肺血流・心機能・肺機能を非侵襲的かつ迅速に評価でき、急性期を含む患者さんの診療における診断や治療効果判定の補助となる可能性があります。移動が困難な患者さんにも適用可能であり、臨床現場での有用性が期待されます。

#### 《目的》

診療で既に実施された胸部動的撮影（DCR）などの既存の診療情報を用いて、心機能・肺機能・肺血流の評価指標の妥当性を検討し、特に肺塞栓、心機能低下、無気肺などの鑑別に資する所見の抽出可能性を検証します。

### （３）研究の方法について

#### 《研究の内容》

本研究は多機関共同研究であり、滋賀医科大学とコニカミノルタ株式会社が協力して実施します。診療で既に取得された胸部動的撮影（DCR）データおよび関連する診療情報を用いて、肺血流・心機能・肺機能の評価に関する解析を行います。コニカミノルタ株式会社は、学術研究に資するデータ解析（画像解析・計測など）の支援を担い、本学は研究の統括を行います。

《利用し、又は提供する情報の項目》

以下の診療情報を、患者さんが特定されない形（匿名化）で利用します。

- 胸部動的撮影（DCR）：連続 X 線画像（DICOM）および解析により得られる指標（例：肺野・心臓の画素値変化、肺野面積変化、横隔膜の動き など）
- 患者背景：年齢、性別、身長、体重、診断名、入院日、退院日
- 血液検査：ヘモグロビン、白血球、血小板、CRP、BUN、クレアチニン、AST、ALT、ナトリウム、カリウム
- 血液ガス検査：pH、酸素（PaO<sub>2</sub>）、二酸化炭素（PaCO<sub>2</sub>）、重炭酸（HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>）、乳酸
- 心臓の検査：心エコーによる左室駆出率（EF）
- 呼吸に関する情報：人工呼吸器の設定（モード、吸入酸素濃度 FiO<sub>2</sub>、陽圧 PEEP、一回換気量）、気道内圧（最高気道内圧 PIP、プラトー圧 Pplat）、呼吸機能計測値（取得されている場合）
- 経過・転帰：ICU 在室日数、病院死亡の有無

①《情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

②《情報の提供を受ける機関の名称》

コニカミノルタ株式会社

③《提供する情報の取得の方法》

電子カルテから診療情報を、画像記録サーバから胸部動的撮影（DCR）データを取得します。

④《情報の提供方法と提供開始予定日》

匿名化（対応表による連結可能匿名化）を施した上で、\*\*暗号化外付け HDD（AES-256）\*\*に保存し、USB メモリは使用しません。暗号化外付け HDD は書留便または手交にてコニカミノルタ株式会社が受領します。提供開始予定日は学長許可日以降とします。

⑤《研究代表者の所属機関および氏名》

国立大学法人 滋賀医科大学 救急集中治療部 助教 宮武 秀光

⑥《情報を利用する者の範囲》

滋賀医科大学およびコニカミノルタ株式会社の本研究担当者（分担研究者の個別氏名は本お知らせには記載しません）。

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

《本研究に用いた情報の二次利用について》

本研究で用いる情報は、本研究の目的のみに利用し、将来の別研究には利用しません（二次利用は行いません）。

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究では、氏名・生年月日・住所など患者さんを直接特定できる情報は解析に使いません。データには研究用 ID を付与し、誰の情報かわからない形で管理します。患者さんと研究用 ID を結びつける対応表は学内のみで保管し、\*\*コニカミノルタ株式会社とは共有しません。\*\*対応表は滋賀医科大学（救急集中治療部 研究室内）の施錠キャビネットに保管し、研究責任者が管理します。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は、学会発表や学術雑誌等で公表することがあります。公表にあたっては、個人が特定されないよう十分配慮します。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、他の対象者等の個人情報および知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書等の資料の入手・閲覧を希望できます。希望される場合は、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用の停止

本研究の対象となる方又はその代理人からの求めに応じて、当該対象者の情報の本研究への利用（又は他機関への提供）を停止します。停止を希望される場合は、下記（８）へご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 救急集中治療部 宮武 秀光

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

メールアドレス：miyatake@belle.shiga-med.ac.jp